



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月2日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社  
 コード番号 4182 URL <http://www.mgc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 酒井 和夫  
 (氏名) 北川 元康

TEL 03-3283-5041

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	115,360	4.0	5,561	△11.4	10,069	19.9	7,053	82.2
23年3月期第1四半期	110,871	30.0	6,274	—	8,395	—	3,870	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 8,768百万円 (138.3%) 23年3月期第1四半期 3,679百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	15.60	15.26
23年3月期第1四半期	8.56	8.37

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	592,584	295,743	48.2
23年3月期	577,045	288,257	48.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 285,539百万円 23年3月期 278,096百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	230,000	1.3	10,000	△20.7	17,000	△1.6	12,000	87.7	26.55
通期	480,000	6.4	21,000	△10.1	37,000	1.7	27,000	42.5	59.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	483,478,398 株	23年3月期	483,478,398 株
24年3月期1Q	31,474,711 株	23年3月期	31,471,354 株
24年3月期1Q	452,005,364 株	23年3月期1Q	452,030,904 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) その他注記情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループにおける当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）の業績は、売上高1,153億円（前年同期比 44億円増（4.0%増））、営業利益55億円（前年同期比 7億円減（11.4%減））、持分法利益50億円（前年同期比 13億円増（37.4%増））、経常利益100億円（前年同期比 16億円増（19.9%増））、四半期純利益70億円（前年同期比 31億円増（82.2%増））となりました。

当社グループにおきましては、東日本大震災により被災した当社鹿島工場および電子材料製造子会社であるエレクトロテクノ㈱の早期復旧に全力で取り組んだ結果、両拠点において当第1四半期内の生産再開に至ることができました。しかしながら、被災拠点については、生産停止に伴い収益面での影響を免れることはできませんでした。

また、震災の影響で国内ユーザーにおける需要の弱含みが見られたほか、円高の進行や液晶向け一部製品の販売不振などもあったことから、営業利益は減益となりました。

一方、海外メタノール生産会社を中心として持分法利益が増加したことから、経常利益は増益となりました。なお、災害による損失等、12億円の特別損失を計上いたしました。

## 〔天然ガス系化学品事業〕

メタノールは、堅調な世界需要と原油価格の高止まりを背景として、市況が高水準で推移し、販売数量が増加したことから、増収となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、全般に販売数量が堅調に推移する中で、MMA系製品の販売価格が上昇したことなどから、売上高、損益ともに改善しました。

酵素・補酵素類は、コエンザイムQ10の販売が低調に推移したため、前年同期を下回る収益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油販売価格の上昇により、増益となりました。

以上の結果、売上高は398億円（前年同期比 84億円増（27.1%増））、営業利益は6億円（前年同期比 15億円改善）となりました。また、海外メタノール生産会社の業績が改善し、持分法利益を38億円計上した結果、経常利益は42億円（前年同期比 29億円増（235.0%増））となりました。

## 〔芳香族化学品事業〕

特殊芳香族化学品は、メタキシレンジアミン、MXナイロン、芳香族アルデヒドにおいて、それぞれエポキシ硬化剤用途、ガスバリアボトル用途、樹脂添加剤用途の需要が欧米を中心として堅調に推移したことなどから、売上高、損益ともに改善しました。

高純度イソフタル酸は、中国需要の減速により販売数量が減少したほか、円高や原料価格上昇の影響を受けましたが、前期後半からの市況の騰勢が当第1四半期の途中まで続いたことから採算が改善し、前年同期を上回る収益となりました。

以上の結果、売上高は318億円（前年同期比 42億円増（15.5%増））、営業利益は6億円（前年同期比 7億円改善）、経常利益は4億円（前年同期比 8億円改善）となりました。

## 〔機能化学品事業〕

工業用無機薬品類は、鹿島工場の生産停止の影響で過酸化水素の販売数量が減少したことなどから、減収減益となりました。

電子工業用薬品類は、超純過酸化水素の国内向け販売数量が減少したものの、海外子会社が好調に推移したことなどから、増収増益となりました。

エンジニアリングプラスチックでは、ポリカーボネートは鹿島工場の生産停止による販売数量の減少に加え、原料価格の上昇により減収減益となりましたが、ポリアセタールは海外を中心として好調に推移し、前年同期を上回る収益となりました。

ポリカーボネートシート・フィルムは、携帯電話向けハードコートシートなどは堅調に推移しましたが、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの売上高が大きく減少したことから、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は283億円（前年同期比 57億円減（16.9%減））、営業利益は24億円（前年同期比 18億円減（42.9%減））となりました。また、持分法利益を5億円計上した結果、経常利益は28億円（前年同期比 17億円減（38.2%減））となりました。

## 〔特殊機能材事業〕

半導体パッケージ向けBT材料は、エレクトロテクノ㈱の早期復旧に伴い、携帯電子機器用途を中心として高水準の受注があったものの、電子材料全体としては、販売数量が前年同期には及ばなかったことや製造コストの増加に伴う採算悪化などもあり、減収減益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、主用途である国内食品分野や輸出を含め、全般的に堅調に推移したことから、前

年同期並みの収益となりました。

以上の結果、売上高は150億円（前年同期比 24億円減（14.1%減））、営業利益は21億円（前年同期比 5億円減（19.1%減））、経常利益は21億円（前年同期比 5億円減（21.3%減））となりました。

[その他の事業]

その他の事業の売上高は1億円（前年同期比 0億円減（3.1%減））、営業利益は0億円（前年同期比 0億円減（41.6%減））、経常利益は3億円（前年同期比 1億円減（33.8%減））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、有価証券、有形固定資産及び投資有価証券が増加したことなどから、前連結会計年度末比155億円増加の5,925億円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより80億円増加の2,968億円、純資産は、利益剰余金の増加などにより74億円増加の2,957億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年3月期決算発表時に東日本大震災の影響により合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、最近の事業環境及び業績動向等を踏まえ、以下のとおり第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を策定いたしました。

なお、為替レートは、1米ドル80円、1ユーロ115円を前提としております。

平成24年3月期 第2四半期連結累計期間連結業績予想（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	230,000	10,000	17,000	12,000	26 55
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成23年3月期第2 四半期連結累計期間)	227,054	12,616	17,276	6,392	14 14

平成24年3月期 通期連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	480,000	21,000	37,000	27,000	59 73
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	451,033	23,363	36,394	18,950	41 92

(ご参考：連結セグメント業績予想)

(単位：億円)

	第2四半期連結累計期間		通期	
	売上高	経常損益	売上高	経常損益
天然ガス系化学品事業	791	69	1,648	141
芳香族化学品事業	687	14	1,402	30
機能化学品事業	687	52	1,342	118
特殊機能材事業	301	42	616	85
その他の事業	3	8	7	15
調整額	△171	△17	△218	△22
合計	2,300	170	4,800	370

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,964	36,067
受取手形及び売掛金	112,029	109,646
有価証券	613	17,640
商品及び製品	36,334	41,425
仕掛品	10,312	10,426
原材料及び貯蔵品	21,570	21,263
その他	16,476	15,616
貸倒引当金	△778	△710
流動資産合計	244,522	251,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,453	51,016
機械装置及び運搬具（純額）	66,884	65,469
その他（純額）	59,485	63,291
有形固定資産合計	176,823	179,777
無形固定資産		
のれん	56	68
その他	4,175	4,307
無形固定資産合計	4,231	4,375
投資その他の資産		
投資有価証券	131,047	133,917
その他	20,883	23,598
貸倒引当金	△462	△461
投資その他の資産合計	151,468	157,055
固定資産合計	332,523	341,208
資産合計	577,045	592,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,108	70,802
短期借入金	69,845	69,988
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	1,869	981
引当金	5,912	3,908
その他	24,792	24,735
流動負債合計	182,527	190,416
固定負債		
長期借入金	75,850	75,508
退職給付引当金	5,402	6,001
その他の引当金	1,302	1,226
資産除去債務	3,472	3,489
その他	20,232	20,199
固定負債合計	106,260	106,424
負債合計	288,787	296,841
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,591	35,591
利益剰余金	236,597	242,520
自己株式	△7,920	△7,922
株主資本合計	306,238	312,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,197	3,258
繰延ヘッジ損益	—	5
土地再評価差額金	192	192
為替換算調整勘定	△32,531	△30,076
その他の包括利益累計額合計	△28,142	△26,621
少数株主持分	10,161	10,203
純資産合計	288,257	295,743
負債純資産合計	577,045	592,584



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	110,871	115,360
売上原価	90,582	95,546
売上総利益	20,289	19,813
販売費及び一般管理費	14,015	14,252
営業利益	6,274	5,561
営業外収益		
受取利息	31	30
受取配当金	552	658
持分法による投資利益	3,681	5,057
その他	569	522
営業外収益合計	4,834	6,269
営業外費用		
支払利息	593	490
出向者労務費差額負担 為替差損	357	386
その他	1,284	223
その他	477	660
営業外費用合計	2,713	1,761
経常利益	8,395	10,069
特別利益		
持分変動利益	—	17
特別利益合計	—	17
特別損失		
災害による損失	—	488
環境改善対策費用	296	463
投資有価証券評価損	—	307
減損損失	205	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,777	—
特別損失合計	2,279	1,264
税金等調整前四半期純利益	6,115	8,822
法人税等	1,969	1,389
少数株主損益調整前四半期純利益	4,146	7,433
少数株主利益	276	379
四半期純利益	3,870	7,053

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,146	7,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,681	△930
繰延ヘッジ損益	—	6
為替換算調整勘定	580	749
持分法適用会社に対する持分相当額	634	1,511
その他の包括利益合計	△466	1,335
四半期包括利益	3,679	8,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,240	8,225
少数株主に係る四半期包括利益	439	543

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## [セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	天然ガス系 化学品事業 (百万円)	芳香族化学品 事業 (百万円)	機能化学品 事業 (百万円)	特殊機能材 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	31,373	27,567	34,178	17,573	178	—	110,871
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,013	292	1,193	166	31	△2,696	—
計	32,387	27,859	35,371	17,740	209	△2,696	110,871
セグメント損益 (経常損益)	1,268	△428	4,661	2,736	483	△326	8,395

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損益の調整額△326百万円は、セグメント間取引消去△54百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△272百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「天然ガス系化学品事業」セグメントにおいて205百万円の減損損失を計上しております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	天然ガス系 化学品事業 (百万円)	芳香族化学品 事業 (百万円)	機能化学品 事業 (百万円)	特殊機能材 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円) (注)1	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	39,867	31,835	28,385	15,098	172	—	115,360
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,876	419	380	0	19	△2,697	—
計	41,743	32,255	28,766	15,099	192	△2,697	115,360
セグメント損益 (経常損益)	4,249	420	2,881	2,154	320	42	10,069

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損益の調整額42百万円は、セグメント間取引消去△95百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用138百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他注記情報

(追加情報)

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

・災害による損失に係る保険金収入の計上予定について

当社および連結子会社は、保有している主要なたな卸資産、固定資産等に対して、単独または共同で損害保険を付保しております。平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した当社鹿島工場及び連結子会社エレクトロテクノ株式会社のたな卸資産、固定資産等は、火災保険の地震特約(保険金額22億円・免責5億円)の共同付保対象となっておりますが、当該被災に係る保険金の受取額は、確定するまでには時間を要しますので、確定時に保険金収入の計上を予定しております。